

FALプロジェクト概要



テーマ

地域資源を活用したスポーツツーリズムの提案

連携先

三田市 若者のまちづくり課、文化スポーツ課

主な活動場所

兵庫県三田市内

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します。

キーワード

地域資源、スポーツツーリズム、ノルディック・ウォーキング、まちづくり、地域活性化

活動内容 概要

兵庫県三田市をフィールドに、豊かな自然や食、歴史などの文化にアウトドアでのアクティビティを融合したまちづくりに取り組む。継続的に関わりながら、地域の活性化ならびに地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進とノルディック・ウォーキングの普及を後押しすることを旨とする。

活動の目的

- ・地域課題を理解し、具体的な解決策を提案することができる
- ・アクションプランを踏まえたまちづくりや地域の活性化に仲間と取り組む
- ・取り組みの成果を評価し、地域へのフィードバックを試みる

求める人材像

地域が抱える課題や社会にある問題に向き合い、学生のアイデアを活かしたまちづくりに興味のある方、仲間と協働・協創しながらチームワークを大切にできる皆さんをお待ちしています。三田市の豊かな自然環境とユニークなヒトやコトを知り、地域資源を活かしたソフトツーリズムやアウトドアスポーツの推進と一緒に取り組みましょう！

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 他者の思いに寄り添い、協調する力
- ▶ 知識や経験、収集した情報をもとに課題解決する力
- ▶ 新たな価値に触れ、自律的に行動する力

FALプロジェクト概要



テーマ

バレーボールを通じた地域の賑わい創出とプロモーション活動

連携先

枚方市市民活動課、枚方校区コミュニティ協議会パンサーズ応援団

主な活動場所

パナソニックアリーナ、枚方公園駅周辺、枚方市内各所、他
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

地域のにぎわい創出、スポーツまちづくり、バレーボール推進

活動内容 概要

枚方校区を拠点に活動するパナソニックパンサーズを後援するパンサーズ応援団と一緒に、バレーボールを通じた地域の賑わいづくりやチームの応援活動、選手とのコラボ企画、イベント運営等に取り組む。プロジェクト参加者は応援団の一員として活動に定期的・継続的に関わりながら、枚方市の様々な資源を活用し、地域の活性化ならびにバレーボールによるまちづくりの実現を後押しすることを目指す。

活動の目的

- ・地元企業や自治体、住民等、地域コミュニティとの接点に関心を持つ
- ・スポーツを通じた地域コミュニティや社会の活性化に取り組む
- ・取り組みの成果を評価し、地域へのフィードバックを試みる

求める人材像

バレーボールを通じた地域コミュニティの活性化やスポーツによるまちづくり等に感心を持ち、地域の方々や仲間と協働すること、チームワークを大切にできる皆さんをお待っています。「バレーボールのまち枚方」を目指し一緒に取り組みましょう！

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 他者の思いに寄り添い、協調する力
- ▶ 知識や情報に対し、技術的ツールを用いて相互作用的に活用する力
- ▶ 新たな価値に触れ、自律的に行動する力

FALプロジェクト概要



テーマ

球団「兵庫ブレーバース」への支援実践をてこに 標準思考から脱皮する「試行錯誤社会学」

連携先

関西独立リーグ所属のプロ野球の球団、兵庫ブレーバース(代表は川崎大介社長)

主な活動場所

JR三田駅歩10分の球団事務所・選手寮
キッピースタジアム(城山公園)他の球場 大学学内

キーワード

試行錯誤社会学、資源としての「逆境」、
小さい組織こそ今後の主役、ビジネスのイノベーション

活動内容 概要

日本各地には、NPB(巨人とか阪神とかのリーグ)とは別の多数の「野球独立リーグ」が存在している。そのような球団の中から社会的起業の性質が濃い球団を選び、社会学的関与(アクション・リサーチ)の対象とした。この球団では、地元の三田市や神戸市と連携協定を結んで、地域貢献活動をしている。又、選手による老人ホーム訪問や、球場周辺のゴミ拾いなども行っている。そのような球団の日常活動に地道に参加しながら、スポーツビジネスの現状と未来を考察しよう。又、本球団は、インターネットで全試合の配信を試みるなど、先進的なファンサービス活動を実践しようとしている。このような先進性のある部分を伸ばす方向を、NPBのマネではない形で具体化しよう。そこに「試行錯誤社会学」の展望が見えてくる。

活動の目的

企業規模の小さな球団で「活動の全体」を観察することで、組織全体の目標と矛盾なく部分的な改善を提案できるようになろう。その際、経営学や地域社会論の最新の成果も取り入れよう。具体的には、球場でのチケットもぎりや物販中の観察で観客の深層のニーズを探ろう。NPBをイメージ祖型とした、定型思考から離脱しよう。そのためにまず『メタ思考』(澤円)を読んで議論しよう(小企業に未来がある、と書いてある)。また試合観戦に基づいた選手インタビューを多数蓄積することで、中身あるSNS発信をしていこう(FALメンバーで交替に球場に行く)。「兵庫ブレーバース」のネットワーク上の位置を再把握して、「ウガンダとの関係」(cf. カトー選手)や「あしなが育英会との関係」を(再)構築することで球団に新風を吹き込もう。そうやって、社会学を社会に実装する実践経験を積もう。観察力・プレゼン能力・議論力を身につけよう。

求める人材像

・スポーツの社会的側面に関心がある学生。・律儀に言行一致できるまじめな学生。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 未来のスポーツビジネスを構想できるようになる。ファンの要望を単に聞き取るだけでなく、聞き取った内容から、新規の事業を構想して新しいビジネスモデルを作り出す工夫力が身につく。安さ競争とは違う方向でサービス業の未来を作る力が身につく。
自分や学友の個性が、事業改善構想の多様性につながることを理解する能力の獲得も!

FALプロジェクト概要



テーマ

同窓会型スポーツのイベントマネジメント

連携先

全国高校野球 OB クラブ連合・マスターズ甲子園大会事務局

主な活動場所

阪神甲子園球場(兵庫県西宮市)、神戸大学国際人間学部マスターズスポーツ振興支援室(神戸市灘区)、地方予選大会開催球場(関西圏の野球場)、他
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

元高校球児、マスターズスポーツ、生涯スポーツ振興、スポーツイベント

活動内容 概要

マスターズ甲子園の開催に向け、他大学の学生と協働しながら、出場校との交渉や集客、キャッチボール等プログラムの企画・運営を行う。大会当日は、イベント運営ならびに選手・観客等を対象としたインタビュー調査を実施する。

活動の目的

- ・成人・中高齢者を対象とした生涯スポーツ振興を理解する
- ・大会の開催による個人と地域の活性化に取り組む
- ・インタビューした内容に基づき大会のマネジメント評価を試みる

求める人材像

個人のライフスタイルの活性化や生涯スポーツ文化の振興、世代間を通じた地域再生等に興味を持ち、仲間への思いやりやチームワークを大切にできる皆さんをお待っています。大人がスポーツを楽しむ姿を通して、自身や身近な人のアクティブライフを探究しながら、生涯スポーツのイベントマネジメントを学びましょう!

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 他者の思いに寄り添い、協調する力
- ▶ 知識や経験、収集した情報をもとに問題解決する力
- ▶ 新たな価値に触れ、自律的に行動する力